

越谷生まれ越谷育ち 地元の 大野

人口減少に立ち向かい
子育て家族を
社会で支える体制を
築いていきます。

頑張る
地元事業者を
応援します。

前越谷市議会議員

経験と実績で「埼玉」と「越谷」を
着実に活性化してまいります。

おおの

大野やすし

政治家 大野やすし

2023年県議選次点落選後も、
コツコツと地道に様々な
地域活動に取り組んできました。



01 人口減少でも「選ばれる越谷と埼玉」を 築き、越谷市のバージョンアップを！

「新しく住む人も古くから住む人もともにふるさとと呼べる越谷」を目指し、共働き子育て家族が安心して子どもを産み育てられる環境づくりや、埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備などの方向から、3期12年市政に取り組んできました。

しかし、今後の人口減少に打ち勝つ社会を築くためには、市政の枠組みでは解決できない課題が多くあります。このため、共働き家族と地元で頑張る事業者応援の旗印のもと、埼玉県と越谷市の政策の一層の深化を目指します。
(取り組みの詳細は裏面へ)

02 自ら取り組む地域貢献事業の継続発展！！

◆2016年に仲間と立ち上げた越谷プロデュース研究会。コロナ禍でも越谷の文化の灯をともし続けるため、地元ゆかりの演奏家や落語家とともにコンサートや寄席を開催してきました。

◆越谷麦味噌復活プロジェクトでは、越谷技博で「初めての麦味噌仕込みワークショップ」を毎年連続で開催し、好評続命中です。

◆こしがや「まち未来創造塾」では伝統工芸チームに参加し、越谷だるまの普及に取り組みました。「越谷創作だるまコンテスト」や「越谷だるまアートコンクール」を立ち上げ、伝統工芸の活性化を進めました。

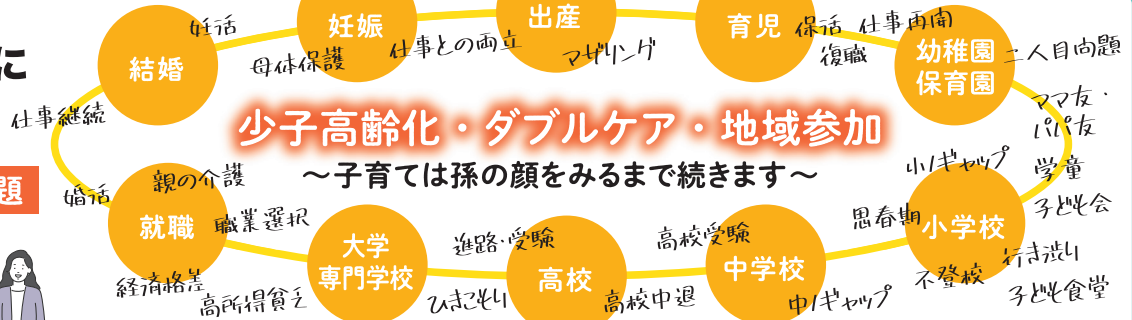
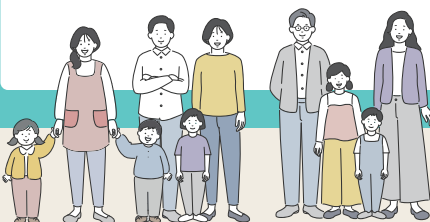
03 夫婦で政治チャレンジ！！

以上を踏まえ、このままでは人口減少で崩壊する日本社会を変えるため、妻とともに、2023年1月「人口減少時代の家族を応援する会」を立ち上げ相乗効果で埼玉と越谷の政治を変えていきます。



越谷から、人口減少に 立ち向かおう！

子育てステージと家族の課題



詳しい内容はHPやSNSでご確認ください。

y-ohno.jp



経験から取り組む5施策

人口減少に打ち勝つ令和の越谷を築く3つの方向

- 共働き子育て家族が子どもを安心して生み育てられるしくみづくり
- ダブルケア、老々介護を支える高齢者も安心な医療介護福祉の環境づくり
- 埼玉県東南部100万人を見据えた未来への投資と基盤整備

3つの主張

- 誇りを持てるまち越谷を築く
- しぶとい日本人の再生を目指す
- 簡素で効率的な行政体制づくり

- 子ども・教育施策の推進
- まちづくり・経済産業施策の展開
- 高齢者・危機管理施策の強化
- 観光を通じた伝統・文化の活性化
- 行財政改革の徹底

3期12年の取り組みと 今後の方向

経験から取り組む
5つの施策



大野やすし市議会議員、12年間の主な取り組みと今後の方向

01 子ども・ 教育

- 夏休みなど**長期休業中の学童保育**の早朝預かりの実施
- 自治会館を利用した初の子育てサロン「みんな」の実現
- 夏休み宿題学習会や子ども食堂の開催
- 時代にあった**PTA・子ども会改革**の実現
- 学童・放課後子ども教室の拡充
- 待機児童の解消
- 高校のあり方の検討(職業教育など)
- 不登校対策の警鐘
- 小中学校エアコンの整備、トイレ洋式化

02 まちづくり・ 経済産業

- 東埼玉道路・浦和野田線など**道路網の整備推進**
- 越谷いちごタウンの開設
- コロナ対策支援金の普及啓発
- 空き店舗対策、事業継承など、商店街活性化事業の継続
- 南越谷駅、新越谷駅周辺に**ぎわい創出事業新設**
- ガーやちゃんの蔵屋敷の開設と事業の黒字化
- 南荻島産業団地、道の駅、(仮称)出羽公園駅、東武線北越谷駅以北の高架化など



浦和野田線元荒川工区説明会の開催

03 高齢者・ 危機管理

- 宮本小学校における**宮本町神明町合同防災訓練**の実施
- 元荒川堤防強化工事の実現
- 防災ラジオの販売
- 出羽堀り堤防**嵩上げ工事**(宮本町谷中町地内)
- 避難所運営訓練の地域連携の推進
- 小学校区単位の**防災訓練・連携の実現**
- 中川綾瀬川流域の総合的な**治水対策**の推進
- 「振り込め詐欺」対策の普及啓発



元荒川堤体補強工事

04 観光・ 伝統文化

- 赤山寄席、大人のコンサート、こしがや能楽堂コンサート開催など、コロナ禍でも**越谷の文化の灯をともし続ける活動の実施**
- 越谷だるまアートコンテストなど**伝統工芸活性化事業の企画実施**
- 越谷麦味噌復活プロジェクトの実施
- ガーやちゃんの蔵屋敷の開設と事業の黒字化
- 久伊豆神社世話人として**伝統行事を継承し越ヶ谷秋祭りを支援**



第12回赤山寄席



令和6年越ヶ谷秋祭り

05 行政 改革

- 公共施設マネジメントへの注意喚起
- 下水道事業への企業会計の導入
- 職員定数条例への否決・見直しの実施
- 監査委員選任に伴う監査の実施
- 市立病院の経営形態の検討



市議会副議長

大野きょうこ市政及び地域活動



2023年5月～越谷市議会議員(1期目)
2025年6月～民生常任委員会副委員長

01 両親とも望むキャリアを形成しながら、 2人以上の子育てができる社会づくり

- 夏期休業中の**学童保育室給食提供**、2024年夏以降2桁日数を実現
- 危険な通学路、交差点への**安全対策依頼と実現**
- 「**不登校早期発見、早期対応フロー**」策定の提言と実現
- 旧「わくわく体験プロジェクト」の名称変更実現(「越谷不登校親の会」へ改称済み)
- 公共施設内の子どもの居場所エリア拡充提言
- 少子化対策として公的な**結婚支援**拡充提言
- 学校PTAの枠組みで、**不登校児童生徒を抱える親の会**を主催
- 学習塾事業を通じた**学力向上支援**



「越谷不登校親の会」会場にて

02 開かれた地域社会の再構築

- 自治会、民生委員の**担い手不足問題**解消への提言
- 学校区単位での**避難所開設訓練実施**の提言
- 子ども会役員として地域活動へ参画
- 地域活動効率化策としての**オンライン化推進**
- 夏休み宿題応援会**の開催
- 卒業対策委員としてコロナ禍で途絶えた親子イベントの企画運営



夏休み宿題応援会

03 子育てと介護の ダブルケアに向けた準備と支援

- 認知症の早期発見施策**の提言
- 就労世代への**介護に備えた意識啓発**の提言
- 実家の遠距離介護**、義父の在宅介護経験を踏まえた情報発信



訪問入浴サービス



23年の行政経験と市議12年の実績 バランスよく着実に前進!

共働き
父
ちゃん
の
政治
チャレンジ!

人口減少時代の
家族を応援する会

主な地域活動

- 越ヶ谷高等学校同窓会元副会長(平成15年～23年2月)
- 久伊豆神社氏子世話人
- 旧日光街道、越ヶ谷宿を考える会会員
- 越谷市綱引連盟顧問・越谷市郷土研究会会員
- 越谷市阿波踊り「帆波衣連」連員
- 広報こしがやを読む会の立上げ(平成27年2月～)と事務局
- 越谷の学童保育を考える会の立上げ(平成29年7月～)と事務局
- 越谷プロデュース研究会の立上げ(平成28年7月～)と事務局
- こしがや「まち未来創造塾」伝統工芸チームリーダー
- 越谷技博「初めての麦味噌仕込みワークショップ」技人
- 越谷にジュニアオーケストラを立ち上げる会顧問
- 出羽地区子ども会育成連絡協議会会長
- 越谷市立中央中PTA会長

8人
家族



大野やすしプロフィール

1963	8月 越谷市宮本町生まれ 62歳
1970	3月 越谷くろみ幼稚園卒園→越小→中央中→越高卒業
1987	3月 明治大学政経学部政治学科卒業
	4月 東京都庁入都(建設・計画・分権・行革・防災など)
2011	4月 越谷市議会初当選(2,165票)
2015	4月 越谷市議会当選2回目(2,401票)
2016	2月 介護職員初任者研修修了
2018	6月 越谷市監査委員選任
2019	4月 越谷市議会当選3回目(3,201票)
	6月 民生常任委員会委員長選任
2020	9月 決算特別委員会委員長選任
2021	6月 副議長選任(～2022年6月まで)
2022	3月 予算決算常任委員長(初代)
2023	1月 「人口減少時代の家族を応援する会」設立。代表。
	4月 埼玉県議会議員選挙(10,689票)次点で落選
2024	3月 学習塾開業(生徒のため非公表)